

誇りある国づくり運動に立ち上った人々◆

# 絆を力に、憲法改正へ！

日本会議岩手県本部 会長 鎌田 勇氏

押してもダメなら引いてみる

岩手県では昨年4月に「岩手県民の会」が発足し、憲法改正運動が本格始動しました。幹事長の鎌田さんに、現在の活動状況についてお伺いします。

**鎌田** 岩手という地域は、坂上田村麻呂に攻められた阿弓流為の時代、奥州藤原氏の滅亡、秀吉による奥州仕置、関ヶ原の戦い後の稗貫氏滅亡、明治維新では逆賊とされるなど、昔から中央政治と離れたところを歩いてきました。現在では小沢一郎さんの政治的影響を強く受けているのはご承知の通りです。そのうえ動きは慎重、口は重く声高に主張することを嫌う県民性もあって、憲法改正の気運を岩手県じゅうに広めていくのはと



ミニ集会では、憲法改正が問われる背景をパワーポイントや、地元選出の議員を講師に招くなど工夫を凝らす。

ても骨が折れます。それゆえ、活動になっています。

例えば街頭での署名活動。道行く人々に署名を呼びかけますと、反応は賛否様々ですが、多くの人

はプラカードに目をやりつつも、署名はせずに通り過ぎる。街角などで配られるポケットティッシュにすらなかなか手を出せない遠慮深い県民に、名前を書くという行為はハードルが高いのかも知れません。

「押してもダメなら引いてみよう」ということで、今度は受動的なアプローチとして、私の地元花巻市で、皆と手分けしてポスティングを行ないました。配布物には力を入れていて、国民の会がついたチラシの他にも、自前のB4チラシ、新聞や書籍から大事なポイントを抽出した冊子まで用意して啓発を行っています。厳しい状況下でも常に前向きに、地道な活動を積み重ねています。

また、こうした細やかな動きを展開するには各地に活動拠点が必要です。そうした細やかな動きを



要ですから、まずは花巻地区と県南地区に拠点をつくりました。憲法改正の勉強会や地元選出の国会議員を招いてのミニ講演会などを行っています。

——手強い県民性ですね。

**鎌田** 実は、私自身こそ岩手で育った引っ込み思案の最たるものですが、それでもいけないと信念のもとに身を挺して行動する方もいます。私が今こうして活動に没頭できるのは、その方々とのご縁があつてこそだと思っています。

人生を変えた絆

——ご縁というのは？

**鎌田** 私がこうした問題に関心を持ったのは大人になつてからの話です。今にして思うと笑い話なのですが、20代に東京で働いていた頃は、友人に誘われるまま歌声喫茶に通い、多摩公園での色んな集会に出掛けては、いわゆるアジ演説に耳を傾けていたりしていました。都会に出て、そういう集いが新鮮だったんでしようね：知らず